

VOC排出削減に関する自主行動計画のフォローアップ結果（2016年度）

1. 自主行動計画参加会社

当会会員企業 34 社（会員会社 103 社中の参加比率は 33%）

カバー率…2000年度の日本全国のゴム製品製造業のVOC排出量 2.6 万トン※のおよそ 86%を占める。

※出所：環境情報科学センター発行の「平成 14 年度揮発性有機化合物排出に関する調査報告書」

2. 調査結果

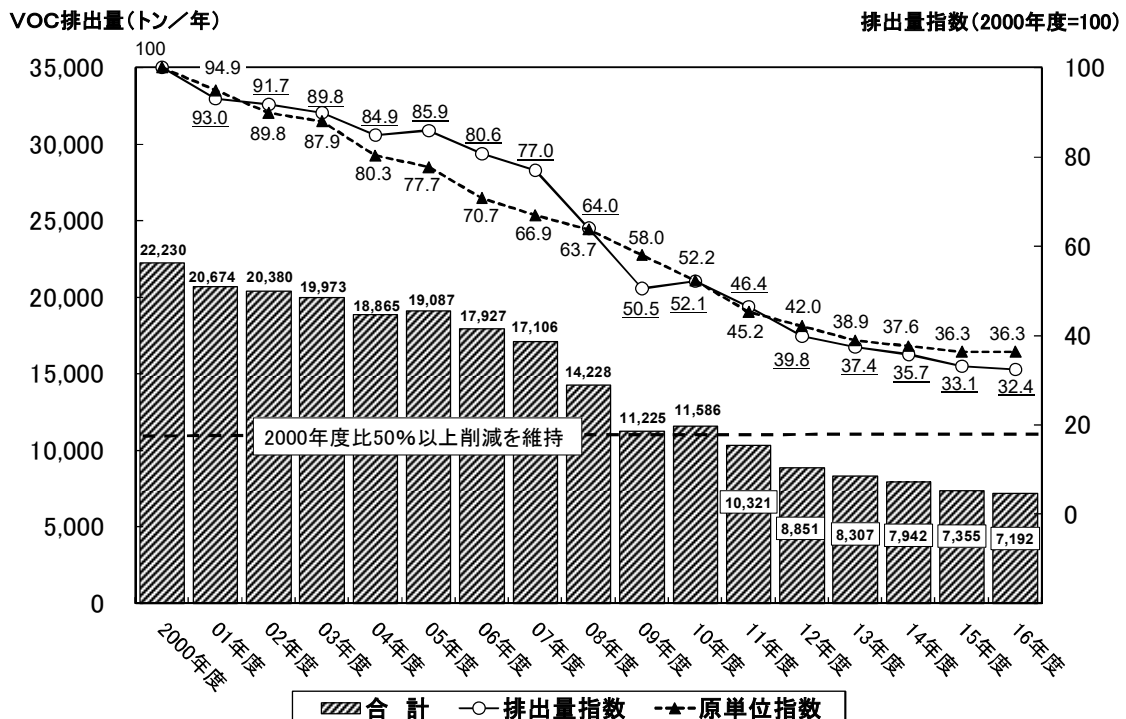
対象VOC物質（17物質合計）の排出量の推移

年度	VOC排出量 (トン/年)	排出量指数	原単位 (トン/ 新ゴム量トン)	原単位指数
2000年度	22,230	100	0.0157	100
2001年度	20,674	93.0	0.0149	94.9
2002年度	20,380	91.7	0.0141	89.8
2003年度	19,973	89.8	0.0138	87.9
2004年度	18,865	84.9	0.0126	80.3
2005年度	19,087	85.9	0.0122	77.7
2006年度	17,927	80.6	0.0111	70.7
2007年度	17,106	77.0	0.0105	66.9
2008年度	14,228	64.0	0.01	63.7
2009年度	11,225	50.5	0.0091	58.0
2010年度	11,586	52.1	0.0082	52.2
2011年度	10,321	46.4	0.0071	45.2
2012年度	8,851	39.8	0.0066	42.0
2013年度	8,307	37.4	0.0061	38.9
2014年度	7,942	35.7	0.0059	37.6
2015年度	7,355	33.1	0.0057	36.3
2016年度	7,192	32.4	0.0057	36.3

※ 集計は、自主行動計画参加会社 34 社のうち、裾切り量が 1 トン以上の 32 社を対象としている。
（一部過去の報告数値を修正）

※ 原単位は、経済産業省の原材料統計の新ゴム量 1 トンあたりのVOC排出量(トン)で算出した。

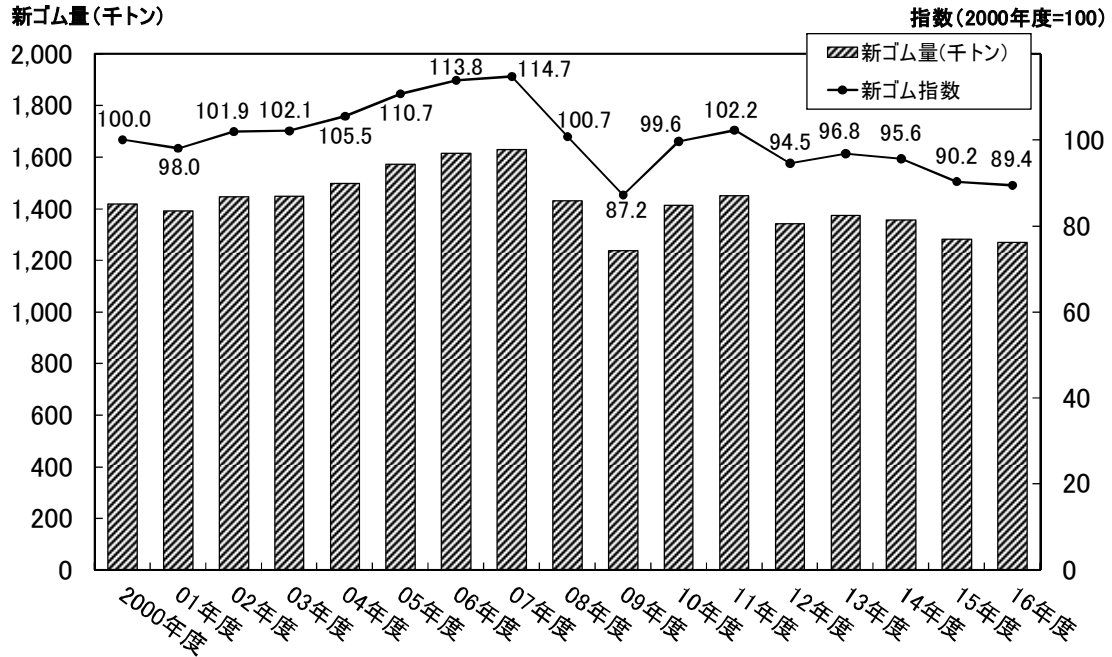
2000年度～2016年度のVOC排出量の推移、2016年度の削減目標



3. まとめ

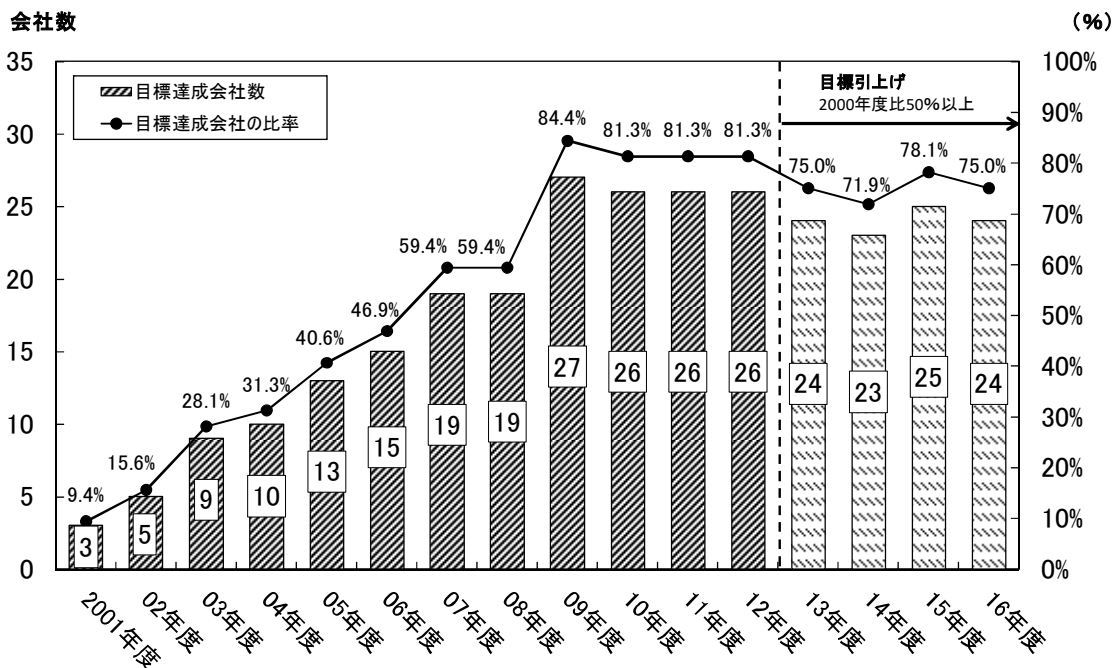
- ① 2016年度のVOC排出量は、7,192トンと2000年度比67.6%の削減となり、目標を17.6pt上回った。
- ② 2016年度の目標達成会社は24社（前年比-1社）となったが、原単位指数は2000年度比36.3と、前年と同水準を維持している。
- ③ これは、各社が取組んだ使用量の削減、溶剤の転換・水性化、溶剤の回収・再利用、使用方法の工夫等の結果であり、引き続き、排出量ならびに原単位の削減努力を続けていく。

参考1. 生産量（新ゴム量ベース）の推移



※ 生産量は、経済産業省の原材料統計の新ゴム量による。

参考2. 目標達成会社の推移



※ 各年度における達成会社の比率は、集計対象（裾切り量1トン以上）32社に対する比率で算出している。

※ 2016年度の目標達成会社数は、前年度25社から24社となった（旧目標ベースでは、29社が達成）。

以上